

めぐみ厚生センター恵友会 会報

第 340号

めぐみ厚生センター恵友会

法人本部	0952-25-2797
めぐみ園	0952-34-7722
富士学園	0952-63-0107
ウイズ富士	0952-51-0063

発行人 副島 勉

郵便振替 事務局 めぐみ厚生センター恵友会 口座番号： 01770-6-12389
〒840-2223 佐賀市東与賀町大字飯盛1584 (めぐみ園内) : tel 0952-34-7722

『ウイズ富士における活動について』

めぐみ厚生センター

ウイズ富士支援サービス部長

中原龍也



めぐみ厚生センター「ウイズ富士」は、平成十六年十月一日に地域で生活される利用者様の日中活動の場を提供するために、知的障害者の通所厚生施設として開設しました。平成二十三年四月一日には、生活介護事業所となり、平成二十九年十月一日に現在の新棟に場所を移動し今年で十九年目を迎えることとなりました。今回はその「ウイズ富士」での日中活動の内容について、ご存じない方も多くと思いますので各科のご紹介をさせていただきます。



現在、六十名定員で五十名の方が(各グループホームから五十名・在宅者の方が六名)金立線

・多布施線からのマイクロバスや送迎車を利用し通所をされています。

一日の流れとしては、各ホームを八時半に送迎車が出発し九時過ぎに到着。それぞれ各活動場所へ移動し(紙工科・園芸科・農芸科・療護科の四グループ)の活動が始まり、十一時十五分に午前中の活動が終了。

十三時半から十六時半に午後の活動を終え、十六時五十分各ホームに向けマイクロバスが出発すれば一日の活動が終了となります。

さて、本題の日中活動の説明に移らせて頂きますが、まず毎年二月頃に利用者様には次年度どの科を希望されるかお尋ねし、クラス編成を行い一年間活動に取り組みれます。



「紙工科」は室内作業を主体とし紙製品を中心に手先を使った作業を好まれる方々が、三クラス編成で十三名の方がおられます。協力会社様より仕事の依頼を受け靴箱の組み立てや、段ボールの型抜等を行っています。

商品の梱包用スプレーヤーや、お酒の仕切り、菓子類の底板など様々な材料が舞い込んできていますよ。



「園芸科」は市役所との委託契約を結び年間七万五千個の花苗育成を行っています。三クラス編成で十五名の利用者が六棟のビニールハウスで活動に励んでおられます。前期の二月頃からポーチユラカの挿し芽に取り掛かり、マリーゴールド・ペゴニア・トレニア・メランポジウム等の鉢上げ作業に大忙し。五月中旬の納品に向け日々活動に励んでおられます。

「農芸科」は三クラス十五名の利用者の方



方が、敷地内にある広大な畑で季節に応じた野菜を作る事を楽しんでおられます。実際、畑と野菜の管理は大変で、播種や植え付けは時期を待たず、外作業は辛いはずですが、皆様収穫を大変楽しみにしながら活動に励んでおられます。野菜は、道の駅・そよかぜ館への出品や職員への販売をしています。「今日はほうれん草を穫つたよ。ナス収穫したよ。買って帰って」と上手に話し掛けて下さいます。

最後に「療護科」は、戸外活動が体力的に難しかったりされる十三名の利用者様が、室内活動(塗り絵・カラオケ・手芸・レクリエーション・散策等)に取り組みられています。通所後のバイタルチェックによる健康維持に努め、毎日楽しく活動することを目標にしています。ウイズ富士利用者様の年齢幅は十九歳から八十三歳で平均年齢は六十二歳。六十歳以上の方が三十五名と半数以上を占め、七十歳以上の十八名の方対象に療護科への移動を相談してはいますが、「ここが良い」と作業活動を希望され、ご本人様の意思を尊重する様にしています。



一日が終わる帰り際「また明日ね」と利用者様が声掛けて下さるのが、今では私たちの励みになっています。

◎会費納入
ありがとうございます

(令和5年4月28日現在)

(敬称略)

- 古川美津子、山領昭子、梅野勝子
- 栗林康之・三枝子、本吉ミヨ子
- 内川商事株式会社、林 俊樹
- 長峰陽子、堤 宏隆、西村紀夫
- 十時忠秀・やよい、吉田太作・志存
- 栗林裕幸・久美子、藤田真奈美
- 原口 弘・久美・基典・弘二朗
- 島田折枝、丸秀醤油株式会社、秀島健介
- 中島秀夫・由美子、野中憲子、武久好光
- 柿木啓子、株式会社鶴田乳業、平山修子
- 斉藤医院斉藤明正、岩田寛剛、松藤範幸
- 九州食品株式会社、梅本隆司・富美子
- 永尾耕三、小田健輔、岡本保子
- はと交通、中村昌平、山口貞雄

◎ご寄付
ありがとうございました

(令和5年4月28日現在)

(敬称略)

- 十時忠秀・やよい、吉田太作・志存
- 栗林裕幸・久美子、斉藤医院斉藤明正
- 岡本保子、中村昌平

|| 作品コーナー ||

江下由美子さん

「貼り絵」

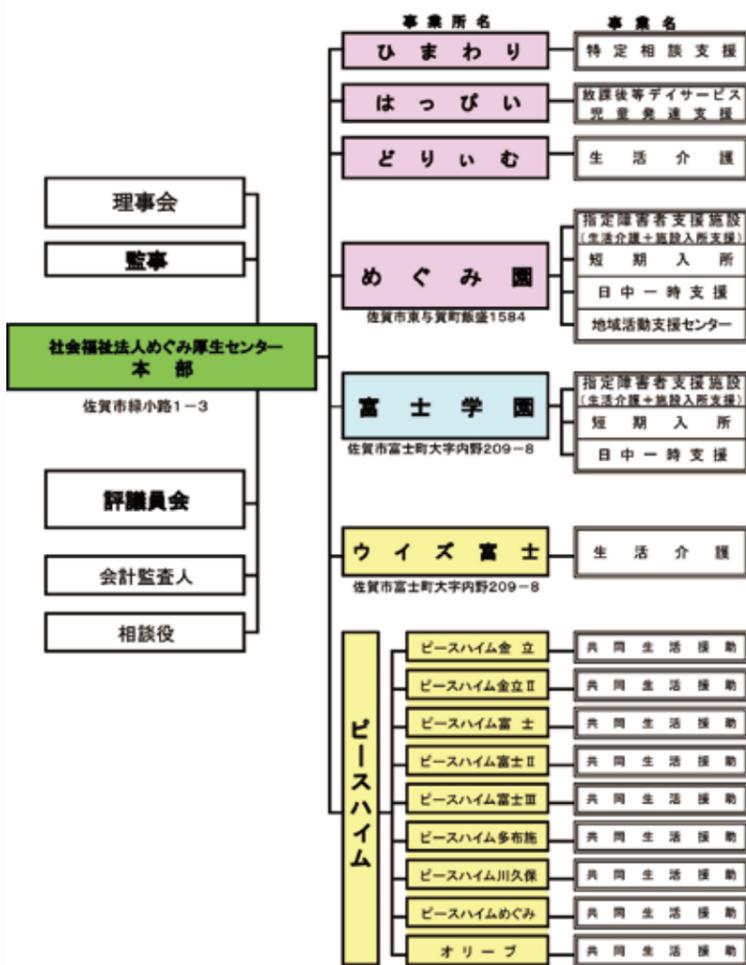


山下真弓さん



社会福祉法人めぐみ厚生センター組織図

2023年04月01日現在



2023年度のめぐみ厚生センターの組織図から各事業所の紹介をしましょう。(詳細はHPにも掲載)

今年から大きく変わったこと

- 「相談支援事業所」を『ひまわり』に統一されました。5名の相談員で相談受付をされます。
- 昨年度立ち上げた『はっぴい』の「児童発達支援事業」は、サービス提供の幅を広げ活動されています。インスタグラムなどのSNSでも活動内容を発信中!
- 『ピースハイム』は以前、旧めぐみ園跡地にあったGH「緑小路」を老朽化のため解体することになり、今年度から9箇所のグループホームで地域生活者を見守られます。

引き続きの事業所

- 通所の生活介護事業所『どりいむ』『ウイズ富士』では、自宅から通所される利用者の方が、「楽しかった」・「また行きたい」と感じてもらえる雰囲気作り・仕事の役割分担で、個性を活かした支援をされています。
- 『めぐみ園』『富士学園』の入所施設では、外国の方の支援員採用も検討し福祉人口減に伴う対策や、将来的な入所施設のあり方の検討(高齢化・集団から個別へ等)も視野に入れた利用者の方の支援を展開されています。

めぐみ厚生センター事業所紹介

|| 恵友会について ||

めぐみ厚生センター恵友会(以下、「恵友会」とは、一九八六年(昭和五六年)に設置され、利用者の方々の心のふれあい活動等を目的とする、めぐみ厚生センターの後援団体です。
会員は、知的障害者を正しく理解し、恵友会の目的に賛同してくださる方なら、どなたでもご加入いただけます。

恵友会の主な活動

- ◎総会開催
- ◎富士学園・めぐみ園の交歓の広場・夏祭り協賛
- ◎視察研修
- ◎会報誌発行(三ヶ月毎)
- ◎その他、随時協力

|| お知らせ ||

コロナで3年間中止していた

視察研修を再開いたします。

日時 6月13日(火)

場所 「青葉園」障がい者支援施設

※右記は現段階の予定です。感染症状況次第で延期もあり得ます。詳細は事務局まで問合わせ下さい※

編集後記

コロナが第5類相当になります。第9派が来るとか来ないとか。【自己責任】になります。自己対策と他の方の対策や考え方の相違を尊重しながら、今しばらくコロナと共存していくしかありませんね。コロナを通して考えます。次世代に何を残すのか。(編集局)